

取扱説明書

クォーツ時計についての取扱い

時刻の合わせかた

リユースを引き出し、時刻を合わせます。時刻を合わせたらリユースを押し込んでスタートさせます。

デイト付きの場合

リユースは、2段階になっています。1段階引いて回すと日付が変わります。

デイトデイト付きの場合

リユースは、2段階になっています。1段階引いて、手前に回すと日付が変わります。逆に回すと、曜日が変わります。

*一部のモデルは (ISA MOVEMENTなど)は曜日が変わりません。

時間を早送りして曜日を合わせて下さい。

*午後9時～午前3時までは日付、曜日を合わせないで下さい。
この時間帯に日付、曜日を合わせると、翌日になってても日付、曜日が変わらないことがあり、故障の原因ともなりますのでこの時間帯以外に針を動かしてから日付、曜日を合わせて下さい。

注意！この原因での修理は有償となります。

磁気についてのご注意

身の周りには電気製品や携帯電話、磁気ネックレス、バック等のマグネット部分など様々な磁気を発生させる製品があります。

アナログのクォーツ時計は磁気を帯びてしまったことで、常時時間が狂うということはほとんどなく磁気を発生させている製品に近づけたその時に磁気の影響を受けて「止まり」「遅れ」「進み」等の狂いを生じてしまうものです。

アナログのクォーツ時計は磁気により狂いが生じても故障しているわけではないので、磁気から遠ざけると元の精度をに戻り作動いたします。狂いが生じた際は修理にお持ち頂く前に、磁気の可能性もあるため、磁気から遠ざけて時間をセットしなおして、時間が狂わないかをお試し下さい。

革ベルトについて

皮革製品は熱に弱く高温染色が出来ません。その為、水濡れ、汗、摩擦等で脱色や染染、日光や蛍光灯の紫外線等での変色が起こる事があります。淡色衣類との使用や保管状況にはご注意ください。

表皮はご使用前に、皮革用クリームで膜を作ると防水性、撥水性も付加され、色落ちしにくくなります。

ご使用上の注意

- 1 時計に水滴がついたままの状態での、リユース操作は避けて下さい。
また、5気圧以下の防水ではウォータースポーツ、入浴などのご使用は避けて下さい。
- 2 直射日光に長時間さらしたり、高温多湿、低温になるところに、長時間置かないで下さい。
- 3 落下等の激しいショックは与えないで下さい。磁気の近くには、置かないで下さい。化学薬品、ガスの中での、ご使用は避けて下さい。
- 4 ケースやガラスについての汚れや水分は、柔らかい布で拭き、常に清潔にご使用下さい。

電池交換について

- 1 電池寿命 この時計は新しい電池を組み込んだ場合、その後、約2年間作動します。
* お買い上げの時計にセットされている電池は、工場出荷時に組み込まれているモニター電池ですので、お買い上げ後、電池寿命に満たないうちに容量が切れることがあります。
- 2 電池交換 電池交換は、お買い上げのお店か保証書に明記された輸入元で承っております。
製品仕様
1. 携帯精度 月差±20秒以内 (常温)
2. 使用電池 小型銀電池 1個
～警告～
1. お客様は、時計から電池を取り出さないで下さい。
2. やむを得ず、お客様が時計から電池を取り出した場合は、電池をただちに幼児の手が届かないところに保管して下さい。
3. 万一飲み込んだ場合は、体に害があるためただちに医師にご相談下さい。
4. 破裂、発熱、発火などの恐れがありますので、電池を絶対にショート、分解、加熱、火に入れるなどしないで下さい。
～注意～
この電池は充電式ではないので、充電すると液もれ、破損の恐れがあります。絶対に充電しないで下さい。

防水性 防水性を保つ為に2年に一度程度パッキンの取り替えをお勧めします。
パッキンが劣化すると防水機能が損なわれます。

	洗剤や固など 一時的にかから 水滴	水仕事など 水にふれる 程度	ポンプを使用 しない スノーダイゼンゲ	ポンプを 使用する本機対応 ダイゼンゲ	水滴がついた 状態での リユース操作
1気圧防水	X	X	X	X	X
日常生活 防水	○	X	X	X	X
5気圧防水	○	○	X	X	X
10,15,20 気圧防水	○	○	○	X	X

クロノグラフ機能付きモデル A について

クロノグラフタイプ A



- ・時間の計測
PB1：スタート ストップボタン PB2：リセットボタン
- ・ラップを計る場合
PB1ボタンでスタートした後、PB2ボタンを押します。ラップ確認後再びPB2ボタンを押すことによって経過した計測中の時間に進んでクロノ/60秒針が動きます。最終タイム計ってリセットするにはPB1を押してストップさせてからPB2ボタンを押してリセットします

クロノゼロセット(クロノ分針と60秒針がゼロに戻らない場合)

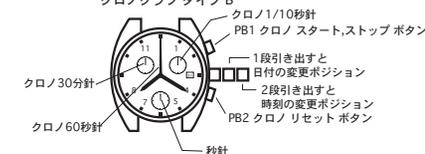
- 1 リユースを引き出します。PB1とPB2を同時に約3秒押すとクロノ/秒針が1周します。
- 2 PB1を押しクロノ/秒針を12時(ゼロ)に合わせます。
- 3 PB2を2回押しした後PB1を押しクロノ/分針を12時(ゼロ)に合わせます。
- 4 リユースを元の位置に押し込みます。

注意：針をゼロポジションに戻している間に、リユースの位置を変えないで下さい。故障の原因になります。

注意！この原因での修理は有償となります。

クロノグラフ機能付きモデル B について

クロノグラフタイプ B



- PB1：スタート ストップボタン PB2：リセットボタン
PB1を押してスタートするとクロノ1/10秒針は停止していますが、計測は続いており、PB1ボタンでストップするとクロノ1/10秒針が停止して経過時間がわかります。

- ・ラップを計る場合
PB1ボタンでスタートした後、PB2ボタンを押します。ラップ確認後再びPB2ボタンを押すことによって経過した計測中の時間に進んでクロノ/60秒針が動きます。最終タイム計ってリセットするにはPB1を押してストップさせてからPB2ボタンを押してリセットします。

カレンダーセット

リユースを一段階引いたポジションで手前に回すと、カレンダーが進みます。

クロノゼロセット(クロノ針がゼロに戻らない場合)

- リユースを1段階引く振り、PB2を押すとクロノ/60秒針が一回毎に1秒進みます。3秒以上押し続けると、早く進みます。これによってゼロポジションのセットをします。同じようにPB1ボタンを押すと、クロノ/10秒針の針が一目盛つ進みます。又、クロノ/30分針のゼロポジションのセットはリユースを2段階引く振り、PB1ボタンを押すと、クロノ/30分針の針が一目盛つ進みます。これによって、クロノスタートのポジションを決めることができます。通常の使用は、12時ポイントに合わせて下さい。

セットが終わったら、リユースを元に戻します。

注意：針をゼロポジションに戻している間に、リユースの位置を変えないで下さい。故障の原因になります。

注意！この原因での修理は有償となります。